

## 志賀原子力発電所 1号機 残留熱除去系ポンプ室における弁のグランドパッキン部からの水の 滴下について

平成15年6月9日  
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所 1号機 (沸騰水型軽水炉、定格出力 54万キロワット)は、第 8回定期検査中のところ、本日 6月 9日、残留熱除去系ポンプ (C)によりサプレッションプール水を液体廃棄物処理系に移送中、12時 10分、原子炉建屋地下 2階の残留熱除去系のブロー弁のグランドパッキン部から床へ水が滴下しているのを発見しました。

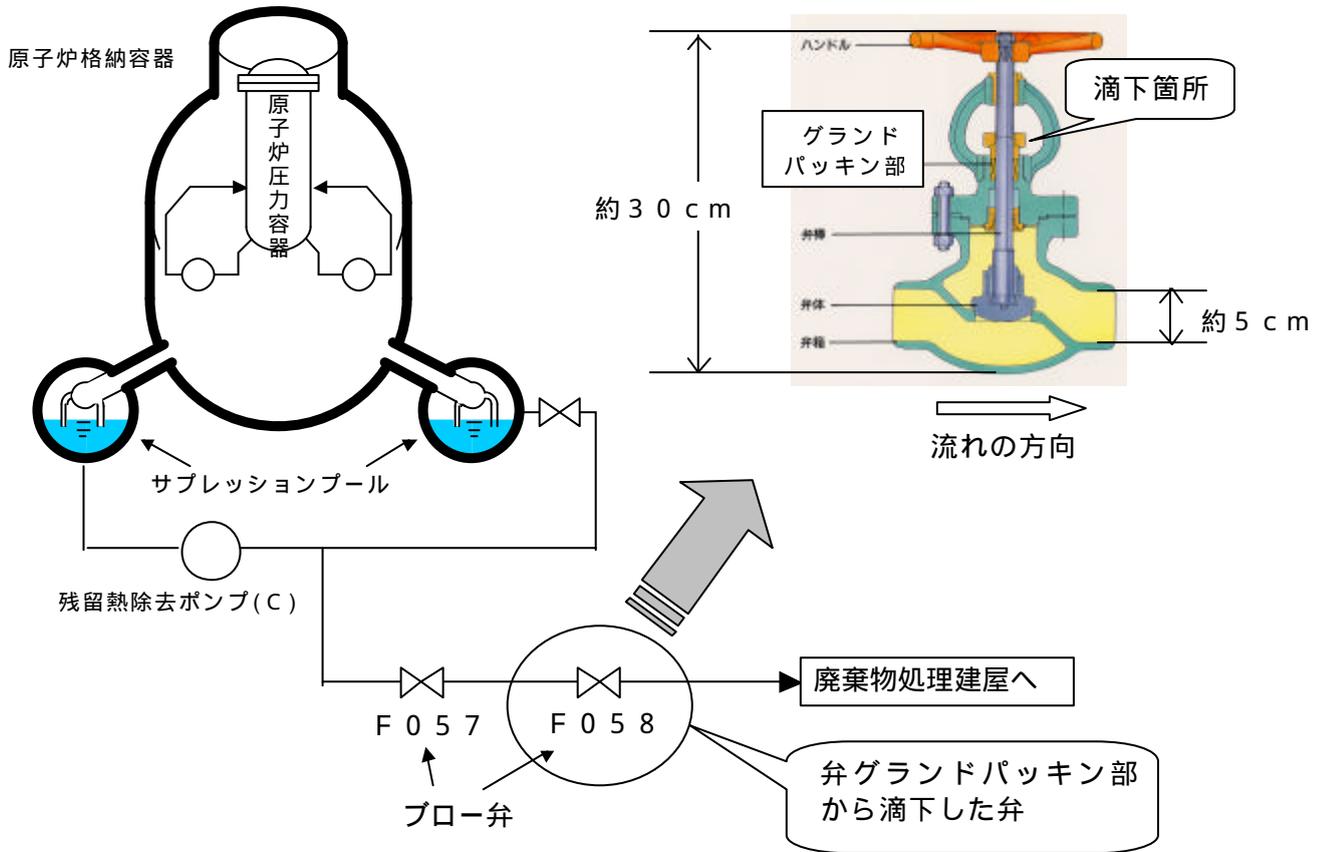
滴下した水は約 140ミリリットルで、床にこぼれた範囲は約 40cm × 約 70cmでした。13時 25分に当該弁のグランドパッキンの増締め等を行い、水の滴下は止まりました。

なお、滴下した水の放射能は測定の結果、約 110ベクレルであり、通産に基づく国への報告基準  $3.7 \times 10^6$ ベクレルの約 3万分の 1の量です。

外部への放射能の影響はありません。

以 上

# 残留熱除去系 系統概略図



当該部写真